

**未来医療研究人材養成拠点形成事業**  
**選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント**  
**[テーマB：リサーチ・マインドを持った総合診療医の養成]**

		整理番号	B - 13
申請担当大学名 (連携大学名)	札幌医科大学		
事業名	北の地域医療を支える総合診療医養成プラン		
事業責任者	病院長 平田 公一		
<b>事業の概要</b>			
<p>本学では、これまでに北海道の地域医療を担う医師育成を目的に地域医療枠 15 人、北海道医療枠 55 人の入試制度改革や本学独自の特徴的な地域医療実習を実践しており、この実績に新たに総合診療教育を強化したプログラムを構築する。まず、保健医療学部とのチーム医療地域実習を拡充・必修化し、地域医療枠を含む全学生が総合的な医療を学べるプログラムを作成する。卒業教育では、総合診療医養成特化コースを創設し、指導医派遣で本学と連携関係にあり、総合診療医育成実績のある江別市立病院と町立松前病院等に、本学分室を設置、専任教員を配置して、強力な指導医体制で総合診療医を養成し、更に疫学や予防医学等の実績のある研究指導体制を整備する。また、総合診療マインドを持つ専門医養成コースとして、内科専門医を取得する中で幅広い視野で患者を診られる医師の養成に取り組む。本学と地域病院が連携して多様な対応ができる総合診療医を養成する。</p>			
<b>推進委員会からの主なコメント</b>			
: 優れた点等、 : 改善を要する点等			
<p>総合診療医の育成システムは、地域でのネットワークを生かした優れた内容である。            TV会議の実績が十分にあり、プログラム全体の実現可能性が高い。            研修病院に優秀な教員の派遣を行うことは現場の医師のモチベーション維持に重要であるが、この点に配慮しており、早期に結果を社会に還元することが可能である。            将来の総合診療医指導医育成に配慮している。            リサーチ・マインドをどのように育てるか、その視点も含めた教育プログラムを構築されたい。            医学生へのキャリア教育は計画されているが、卒業後の医師や男女医師へのキャリア形成支援についても検討することが望ましい。            総合診療医の養成にあたる指導者をどのように育てるのかについて、今後検討することを期待する。</p>			